

豊岡中学校の ESD 活動

＜活動の概要＞

- ・「自立・友愛・創造」を学校理念として、ESDを「地域とのかかわりの中で継続可能な社会づくりへ貢献していくもの」と捉え、ESDの実践を通して責任をもち、すすんで行動する力や自ら学び考える力の育成を目標とした。
- ・本校の伝統である「あいさつ・歌・ボランティア」。その中の一つに、ボランティア委員が中心となって行うホリデーボランティア（ホリボラ）と、有志の生徒が中心となって行う挨拶ボランティア（あいボラ）というものがある。

・活動の実際

① ホリデーボランティア活動（有志参加）

本校の3本柱のうちの1つであるボランティア活動に参加することで、地域とのよりよい関わりを考えるきっかけづくりとして、また、活動を通して奉仕の心を育てることをねらいとして、休日や授業後にボランティア活動を行っている。

公園清掃のボランティアは、清掃班のグループ編成から清掃道具の準備、当日の進行までボランティア委員が中心となって行う。本年度行われた第1回ホリボラでは、140名もの生徒が参加した。これは、全校生徒の4分の1以上に相当する。このことから、豊岡中学校の生徒は、ボランティアに対する意識を高くもっていることがうかがえる。また、校区の運動会や防災訓練の手伝いボランティアにも参加している。校区の方からは「本当に助かっている」という声を多くいただいている。地域の人と地域のために活動することで、地域を愛する心や「地域に貢献したい」と思う心が育ってきている。



② 挨拶ボランティア（有志参加）

あいボラは、平成27年度から「挨拶で学校を盛り上げよう」という思いで、生徒会役員が中心となって始まった。毎朝、自治委員を中心とした有志で昇降口付近に立ち、挨拶をしている。中には、部活動の仲間に参加を呼びかけ、部活動単位で活動している生徒もいる。毎朝学校の前を通る地域の方からは、「朝から元気な声で挨拶をされると気持ちがいい」という声をいただいている。

